

情報社会に必要な基礎知識を証明する国家試験

ITパスポート試験[®]

平成22年度 春期試験

●郵便受付

平成22年
1/12(火) ▶ 2/8(月)

●インターネット受付

平成22年
1/12(火) ▶ 2/18(木)

●試験日

平成22年
4/18(日)

ITパスポート試験(平成22年度 春期)試験内容

試験時間	出題形式	出題数	合格基準
165分	多肢選択式(四肢択一) ①小問形式 (1問につき1設問) ②中間形式 (1問につき4設問、1つの状況設定に対し 複数の視点から知識・理解を問う)	100問 ①小問形式 88問 ②中間形式 12問 分野別出題数の内訳 ①ストラテジ系(経営全般) 35問 ②マネジメント系(IT管理) 25問 ③テクノロジー系(IT技術) 40問	①総合得点の満点の60%以上 ②分野別得点の満点の30%以上の 両方を満たすとき 合格証書には総合得点及び分野 別得点を記載します。

受験案内

ITパスポート試験(平成22年度 春期)試験日程

受付	試験日	合格発表
○郵便(案内書・願書(冊子)入手が必要) 平成22年1月12日(火)~2月8日(月)	○インターネット(受付ページから申込み) 平成22年1月12日(火)~2月18日(木)	平成22年4月18日(日)

受験手数料

5,100円(税込)

申込方法

受験資格の制限はありません

1) インターネットで申し込む方法

試験センターのホームページ
(<http://www.jitec.ipa.go.jp/>) から
受験の申込みができます。

*受験手数料の払込方法は、クレジットカード決済、
ペイジー(Pay-easy)での払込み、又はコンビ
ニでの払込みのいずれかを選択できます。



※詳細は、ホームページをご覧ください。

2) 願書を郵送で提出する方法

- ①案内書・願書を手入します。
- ②払込用紙(願書と一体)を使用して、
受験手数料を郵便局の窓口で払い込
みます。
- ③願書を封筒に入れ、郵便
局の窓口から「簡易書留」
で郵送します。



※詳細は、案内書・願書をご覧ください。

団体経由申込み

学校や企業において10名以上の応募
者がいる場合は、団体経由申込みを
ご利用いただけます。

- *申込方法は、次の方法があります。
- ・インターネットで申し込む方法
 - ・願書データを郵送で提出する方法
 - ・願書データを電子申請で提出する方法
 - ・願書を郵送で提出する方法

※詳細は、案内書・願書をご覧ください。

お問合せ先	本 部	〒113-8663	文京区本駒込2-28-8	文京グリーンコートセンターオフィス15階	03-5978-7600
北海道支部	〒060-0001	札幌市中央区北1条西4丁目2-12	北一条アネックスビル5階	011-231-5753	
東北支部	〒980-0014	仙台市青葉区本町1-14-18	ライオンズプラザ本町ビル505号	022-227-0901	
関東支部	〒113-8663	文京区本駒込2-28-8	文京グリーンコートセンターオフィス15階	03-5978-8300	
中部支部	〒460-0008	名古屋市中区栄5-26-39	タカシマ名古屋ビル8階	052-261-6818	
近畿支部	〒540-0032	大阪市中央区天満橋京町2-6	天満橋八千代ビル別館6階	06-6946-6301	
九州支部	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-9-28	福岡商工会議所ビル7階	092-472-4575	

IPA[®] 独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター
www.jitec.ipa.go.jp



がんばれ、未来。
キャリアアップに、IT力。

「ITパスポート試験」は、情報技術の基礎知識を問う国家試験です。
IT化された社会で働くすべての方に必要な基本的能力を証明できます。

IPA[®] 独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

ITパスポート 検索 www.jitec.ipa.go.jp



ITパスポート試験[®]

平成22年4月18日(日) 春期試験実施

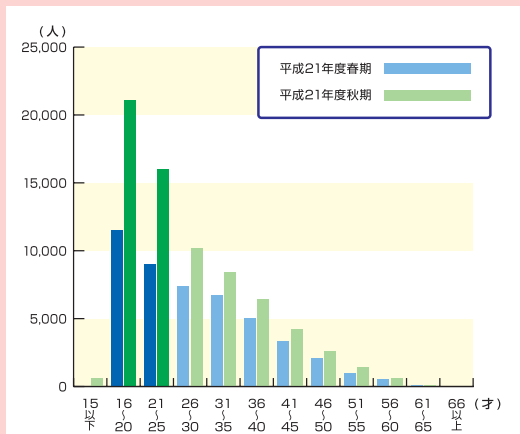
- 全ての職業人に必要な情報技術の基礎知識を問う国家試験
- 幅広い分野(経営全般、IT管理、IT技術)の総合的知識を問う国家試験

■ 出題分野・出題範囲

分野	大分類	中分類
ストラテジ系(経営全般) 財務、法務、経営戦略など経営全般に関する基本的な考え方、特徴など。	1 企業と法務	1 企業活動
		2 法務
	2 経営戦略	3 経営戦略マネジメント
		4 技術戦略マネジメント
		5 ビジネスインダストリ
	3 システム戦略	6 システム戦略
		7 システム企画
マネジメント系(IT管理) システム開発、プロジェクトマネジメントなどIT管理に関する基本的な考え方、特徴など。	4 開発技術	8 システム開発技術
	5 プロジェクトマネジメント	9 ソフトウェア開発管理技術
		10 プロジェクトマネジメント
	6 サービスマネジメント	11 サービスマネジメント
		12 システム監査
	テクノロジー系(IT技術) ネットワーク、セキュリティ、データベースなどIT技術に関する基本的な考え方、特徴など。	7 基礎理論
14 アルゴリズムとプログラミング		
8 コンピュータシステム		15 コンピュータ構成要素
		16 システム構成要素
		17 ソフトウェア
		18 ハードウェア
		19 ヒューマンインタフェース
		20 マルチメディア
9 技術要素		21 データベース
		22 ネットワーク
		23 セキュリティ

■ 平成21年度春期／秋期試験結果

< 応募者年齢構成 >



< 応募者数／合格者数 >

■ 平成21年度春期試験	
応募者数	46,845名
合格者数	28,540名

■ 平成21年度秋期試験	
応募者数	71,856名
合格者数	31,080名

■ ITパスポート試験の活用例

【官公庁】

金融庁

金融行政を遂行するうえでIT知識を身につけることが必須と認識し、21年度から、新入職員全員及び職員の希望者を対象に「IT基礎知識研修」という研修科目を創設。受講者にITパスポート試験の受験を推奨。

佐賀県

21年度から、情報処理技術者試験を人材育成に活用。具体的には、システム部門の職員(約30名)に対し、まずITパスポート試験を推奨。支援策としては、受験料負担と教材の提供を実施。

【企業】

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社

営業・管理部門の社員に対し、人事制度の一環として「ITパスポート」の取得を推奨。また、採用ホームページ上で、受験と取得を推奨するため「ITパスポート試験」を紹介。

リコー中部株式会社

自己啓発促進の取り組みとして全社員を対象にITパスポート試験の受験を推奨。また、ITパスポート試験を資格取得奨励制度の対象とし、合格者には報奨金を支給。

【大学】

青山学院大学 社会情報学部

ITパスポート試験の受験を推奨し、合格すれば 受験料の半額を大学が負担。また、学生の学習をサポートするため、携帯型端末(iPhone 3G)を配付し、端末上で、講義資料や自習用コンテンツを提供。

近畿大学 経済学部

IT技術の修得に留まらず、ITに関する基礎知識も兼ね備えた人材育成を目的として、平成21年度から、経済学部2年次の学生を対象として、ITパスポート試験の合格を目指す科目を開講。

【高校】

東京都立八王子桑志高等学校

ITパスポート試験を「ITリテラシーを測る物差し」として位置づけ、学校独自のカリキュラムにより情報系の生徒の学習を支援し、ITパスポート試験の受験を推奨。

北海道立函館工業高等学校

情報技術科の1年生全員に対し、週二回講習を実施し、ITパスポート試験の受験を推奨。ITパスポート試験をステップに次のレベルの基本情報技術者試験でも合格を目指す。

これからの職業人に
必須の“IT力”

